



五稜

〈五稜の精神〉
勉学・誠実・努力
創造・健康

岩見沢市立上幌向中学校 学校だより 第7号 令和5年9月26日発行

「自分の人生は自分のもの けれど 自分の命は自分だけのものではない」

校長 高田 恭介

命の危険を感じるような夏休み明けの暑さが懐かしいほど、最近のそよぐ風に秋の気配を感じるようになりました。

さて、9月は「防災の日」や「救急の日」などがありました。本校では、9月6日（水）に地震を想定した避難訓練を実施しました。偶然ですが、5年前の9月6日は胆振東部地震の起こった日です。1・2・3年生は、それぞれ小学2・3・4年生のときに北海道全域の停電「ブラックアウト」を経験しました。今回は、命について改めて考えてみたいと思い、相田みつをさんの「自分の番 いのちのバトン」という詩を紹介します。

「自分の番 いのちのバトン」
相田みつを

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で 千二十四人
二十代前では？
なんと 百万人を超すんです
過去無量の
いのちのバトンを受けついで
いま ここに
自分の番を生きている
それが
あなたのいのちです
それが
わたしのいのちです

自分や周りの人の命は、1,200,000,000,000,000分の1（1200兆分の1）の確率で存在しているそうです。命が存在すること、それはまさに奇跡です。自分の命の始まりは、針の先ほどの大きさの受精卵です。直径にすると約0.2mmほどです。この小さな小さな受精卵が、お母さんのおなかの中で約50cmほどになるまでに成長し、この世に生まれました。きっと困難もあったことでしょう。しかし、その困難を確実に乗り越えて今に至るのです。今、私たちが生きていること、それは決して当たり前のことではないのです。

相田みつをさんは「自分の番 いのちのバトン」の詩の中で、「過去無量の いのちのバトンを受けついで いま ここに自分の番を生きている それが あなたのいのちです それがわたしのいのちです」と述べ、その短い詩を通して、自分自身に至る命の連鎖を感じさせてくれています。

すべての命は数えきれない人たちによって、果てしなく長い年月をかけて連綿と受け継がれてきた奇跡の積み重ねです。自分の命が大切なように、周りの人の命も大切です。さらに、それぞれの命を大切に思う人たちが、必ず周りにいます。自分の命も他者の命も大切に、互いに認め合い、支え合うことのできる優しい社会を築くために、これからも本校では命の大切さを伝えていきたいと思えます。

学びと創造の成果を披露～第63回五稜祭～



9月2日（土）に本校学校祭「第63回五稜祭」を開催しました。午前には各学年の総合学習発表とダンス、全校合唱を披露し、これまでの学習活動の成果を中心に発表を行いました。昼の休憩時にはクレープやクッキーの販売が行われ、多くの生徒や保護者が利用していました。午後は生徒会企画、有志によるエクストラステージ、プロの打楽器奏者とピアノ奏者による芸術鑑賞と楽しめる企画が行われ、発表者も観覧者も充実の1日となりました。

全国学力・学習状況調査の結果詳細について

3学年で実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について、先月は結果の概要をお知らせしましたが、今月は各教科の結果の詳細と生徒質問紙の結果についてお知らせします。

国語				数学				英語				英語(話すこと)															
分類	区分	平均正答率(%)			分類	区分	平均正答率(%)			分類	区分	平均正答率(%)			分類	区分	平均正答率(%)										
		本校	北海道	全国			本校	北海道	全国			本校	北海道	全国			本校	北海道	全国								
全体				70	69	69.8	全体				48	49	51.0	全体				39	44	45.6	全体				10	-	12.4
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	75.0	66.4	67.5	学習指導要領の領域	A 数と式	70.0	61.7	63.0	学習指導要領の領域	(1)聞くこと	54.2	58.1	58.4	学習指導要領の領域	(3)話すこと [やり取り]	9.4	-	14.5	学習指導要領の領域	(4)話すこと [発表]	12.5	-	4.2		
		(2) 情報の扱い方に 関する事項	68.8	63.7	63.4		B 図形	25.0	32.9	33.2		(2)読むこと	50.0	48.7	51.2												
		(3) 我が国の言語文化に 関する事項	83.3	74.5	74.7		C 関数	46.9	49.7	51.2		(5)書くこと	7.5	21.1	23.4												
	思考力 判断力 表現力 等	A 話すこと・聞くこと	70.8	81.8	82.2		D データの活用	37.5	44.5	48.5		評価の観点	知識・技能	41.7	49.5	51.5	評価の観点	知識・技能	8.3	-	13.9	評価の観点	思考・判断・表現	12.5	-	10.1	
		B 書くこと	56.3	62.1	63.2	知識・技能	58.8	54.4	55.7	思考・判断・表現			35.9	37.6	38.8												
		C 読むこと	62.5	63.3	63.7	思考・判断・表現	27.5	39.1	41.6																		
評価の観点	知識・技能	76.8	69.1	69.4																							
	思考・判断・表現	63.9	69.2	69.7																							

●国語は「話すこと・聞くこと」の力を高めることが課題です。●数学は「思考・判断・表現」の力を高めることが課題です。●英語は「書くこと」の力を高めることが課題です。

項目	質問事項	本校	北海道	全国
1	家庭生活 朝食を毎日食べていますか	100.0	88.8	91.2
2	家庭生活 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	62.5	77.3	78.0
3	家庭生活 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	100.0	91.2	91.3
4	学校生活 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	87.5	86.8	87.3
5	学校生活 学校に行くのは楽しいと思いますか	87.5	78.5	81.8
6	学校生活 友達関係に満足していますか	100.0	88.0	88.7
7	生活全般 自分には、よいところがあると思いますか	75.0	79.6	80.0
8	生活全般 将来の夢や目標を持っていますか	75.0	65.8	66.3
9	家庭学習 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上勉強をしていますか	12.5	26.7	33.7
10	家庭学習 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり3時間以上勉強をしていますか	12.5	14.9	18.3
11	授業 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	100.0	88.2	88.9
12	授業 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	100.0	64.1	64.1
13	授業 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	87.5	78.6	79.2
14	授業 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	87.5	73.6	74.9
15	教科 国語の授業の内容はよく分かりますか	100.0	81.4	80.0
16	教科 数学の授業の内容はよく分かりますか	100.0	71.3	73.3
17	教科 英語の授業の内容はよく分かりますか	87.5	60.8	63.9

●基本的な生活習慣が身についています。就寝時刻が一定ではない生徒がいます。●学校生活は安定しており、人間関係も良好です。●自己肯定感を高めるために、自分の長所を捉えさせて自己理解を促します。●家庭学習の時間が不足しており、学習習慣の定着が課題です。●授業については満足度が高く、主体的な取組があります。

10月の行事予定

1	日	
2	月	子ども文化祭中学校英語暗唱大会
3	火	
4	水	
5	木	3年朝自習週間(～12日)／3年保育実習／口座振替日
6	金	前期終業式／小中歌声集会(第二小)／英語検定
7	土	
8	日	
9	月	スポーツの日
10	火	後期始業式／認証式／委員会
11	水	参観日
12	木	3年学力テスト総合B
13	金	子ども文化祭中学校音楽発表会(まなみーる)
14	土	子ども文化祭展示発表会(まなみーる)
15	日	子ども文化祭展示発表会(まなみーる)
16	月	職員道徳研修(1・3年午前授業、2年5時間授業)
17	火	教育相談①／議案審議
18	水	教育相談②／全学年英検IBA
19	木	教育相談③
20	金	教育相談④／漢字検定
21	土	
22	日	
23	月	職員会議
24	火	
25	水	生徒総会／委員会・P委員会
26	木	
27	金	
28	土	南空知中学生秋季バドミントン選手権大会
29	日	
30	月	
31	火	